

# 令和6年度 大田区自転車活用推進委員会について

## 委員会の概要

<b>【日程】</b> 令和6年10月24日(木) 午後2時～4時	<b>【報告】</b> (1) 令和5年度第2回大田区自転車活用推進委員会について (2) 令和6年度第1回大田区自転車等駐車対策協議会について	<b>【その他】</b> (1) 大田区自転車等総合計画の主な指標について (2) 次回の予定
<b>【会場】</b> 大田区役所本庁舎 第五、第六委員会室	<b>【議事】</b> (1) 【たのしむ】令和5年度実績と令和6年度の実施内容について (2) 令和6年度の年間スケジュールについて	



## 主な意見

報告(1) 令和5年度第2回大田区自転車活用推進委員会について/令和6年度第1回大田区自転車等駐車対策協議会について	
-	意見なし
議事(1) 【たのしむ】令和5年度実績と令和6年度の実施内容について	
1	<p>サイクルフェスタ参加者のアンケート回答数が44件と非常に少ない。来場者が1,511人もいるので、このアンケート結果と実情は異なっている可能性がある。今後、こうしたイベントでアンケートを行う場合は、もう少し回答者を増やす工夫が必要だと思う。</p> <p>➡アンケートに関しましては来場者数に比べてかなり少ないと認識しておりますので、次回開催時に改善いたします。</p>
2	<p>アンケートの方法として、紙面でアンケートをやるだけでなくGoogleフォームを利用することや回答していただいた人にグッズ等を配布することで、回答者を増やすことが考えられる。</p> <p>➡今回はアンケート用紙で実施し、また、ノベルティグッズ等の配布は行いませんでした。今後、Googleフォーム等の利用やグッズの配布等、検討したいと思います。</p>
3	<p>令和8年度以降、区の予算でサイクルフェスタを開催した場合、来場者の内、区民が6割だけとなっているイベントに区の予算の投入是非が議論になる可能性がある。小中学校にチラシを配布したりするなど、区民の方々に来場いただく方法を検討する必要がある。</p> <p>➡予算歳出時の課題、広報等のご意見を参考に検討を行います。</p>
4	<p>コミュニティサイクル1日券の販売について、外国人観光客向けとしている意図と、金額はいくらか。</p> <p>➡コミュニティサイクルの利用にあたって、基本的にクレジットカードを使用するのですが、訪日外国人の方の一部のクレジットカードに利用できないものがあります。そうした方が観光情報センターを訪れており、現金販売が可能な1日券の販売を開始いたしました。訪日外国人に限らずどなたでも販売は可能です。金額は税込み2,200円です。</p>
5	<p>サテライト施設に指定すると、サイクリスト向けの機能が付加されるのか。</p> <p>➡サイクルラックと空気入れの他、サテライト施設の目印となるのぼり旗も設置する予定です。</p>
6	<p>これからオープンする田園調布せせらぎ館体育施設には、施設のオープン時点でサテライト施設機能が付いたものになっているのか、オープン後に新たに設置するのか。</p> <p>➡オープン後の設置になりますが、オープン後の田園調布せせらぎ館体育室施設の利用状況を見ながら今後検討し、指定が可能であればサイクルラックと空気入れ、のぼり旗を設置させていただきたいと考えています。</p>
7	<p>コミュニティサイクルはポートによって貸出や返却が集中するなど、需要の偏りが発生すると思うが、コミュニティサイクルの再配置は大田区ではどのように行っているか。</p> <p>➡コミュニティサイクルの再配置は事業者で行っておりますが、区に情報が入った際も、事業者による再配置の依頼を行っています。しかしながら現状は、再配置が需要の偏りに追いついておらず、一部のポートで多くの自転車が集中する状況が発生しています。</p>
8	<p>『秋の散走めぐり』でサイクルオアシスとした施設に、サイクルラック、空気入れ、のぼり旗を設置したが、設置しただけでは活用されなかった。例えば、しまなみ海道では現在400カ所以上のサイクルオアシスがあるが、のぼり旗とサイクルラックの設置だけではなく、訪れた方に水、トイレの提供やなどのホスピタリティと、安全管理、情報提供、マナー啓発などを意識している施設をサイクルオアシスとしていることにより、サイクルオアシスの設置要望が高まり、それが地域の自転車活用を促進している。活用していただけるよう施設側へ説明を行う必要がある。散走ネットワークも協力する。</p> <p>➡1回来た方がまた来たい気持ちになれる、おもてなしの気持ちが受け入れ側にならないとなかなか集客ができないと思いますので、委員のアドバイスをいただきながら工夫をしていきます。</p>

議事（１）【たのしむ】令和５年度実績と令和６年度の実施内容について	
9	<p>しまなみ海道のサイクルオアシスについては、それぞれの地域にサイクリストを受け入れたいという熱意があったが、大田区は違うので多少苦勞すると思う。大田区では、羽田空港跡地の拠点の整備が今後の自転車活用の進展を決めると思うので、来年度の整備が始まっていく中で、必要としている施設を事業者に伝える必要がある。羽田空港跡地の整備に関する公募要領には、拠点整備の内容を書いていないのか。</p> <p>➡公募要領には協議会資料の具体的な内容は書いておりません。事業者決定後の打合せを通して調整を行っていきます。</p>
10	<p>羽田空港跡地のサイクリング拠点整備後、羽田を中心とした自転車が活用できる環境を広がっていくということが周知され、最終的にのぼり旗を設置するのならばわかるが、唐突に田園調布せせらぎ館体育施設にのぼり旗を設置しても、サテライト施設の正しい理解をしてもらえないのではないかと。公道から少し奥まった箇所にあることもあり、公道から自転車駐輪場への案内を設置するなど、自転車が止まれる環境があることを伝えることでもよいと思う。隈研吾さん設計の田園調布せせらぎ館体育施設にのぼり旗を設置する際は、デザインを工夫することも考えたほうがよい。</p> <p>➡その地域に合った案内やデザインを工夫していきます。</p>
11	<p>臨海部と多摩川のほうのサイクルルートに拠点を置くということでお話が進んでいたかと思うが、ぜひ街中でも自転車を楽しんでいただきたいと思う。以前、散走に参加したときに駐輪する場所に苦勞したこともあり、環境づくりの面で、大田区で考えていることや運用上の工夫があれば教えていただきたい。</p> <p>➡街中では新たな施設を整備することは困難ですので、既存の施設の活用や指定と自転車利用者へのPRを検討しています。</p> <p>➡散走に関しては、駐輪場所の確保にいつも苦勞しており、例えば穴守稲荷神社に事前にお断りをしたうえで駐輪させていただいて周辺店舗に行くなど、事前に協力していただける施設を探し、調整して商店街を利用している。</p>
12	<p>サテライト施設は今後増やす予定があるのか。中間地点で休める場所があるとよいと思う。トイレやシャワーの施設を有する大田文化の森もサテライト施設に指定することで、サイクリストがより快適に楽しめるのではないかと。大田文化の森の周辺には郷土資料館などの文化施設もあるので、区の商店街への立ち寄りも含めて観光面での期待もできるのではないかと。思う。</p> <p>➡現在のところ２施設以外には設置する予定はございません。サイクリング拠点の運用開始後に利用状況により検討いたします。</p>
13	<p>羽田空港から田園調布せせらぎ館の間の西六郷に民間企業が運営する日本の伝統ギャラリーというものがあり、そこにサイクルラックとのぼりと空気入れを置いていただいている。サテライト施設については公共施設だけでなく、民間の事業者や商店街との連携も考えられるのではないかと。地域からの要望で、サイクルラック等を設置することができれば、愛媛県のような住民参加型のサテライト施設になるのではないかと。思う。</p>
14	<p>大田区自治連合会においても自転車活用のPRをしていただきたい。区民が積極的に参加できる環境を整備する必要がある。</p>
議事（２）令和６年度の年間スケジュール（案）について	
-	意見なし
その他（１）大田区自転車等総合計画の主な指標について	
15	<p>令和元年と令和３・４年度で調査が変わっているデータがある。対象者も変わり、数字も大きく異なったりするので、それを考慮したうえで判断しなければならない。</p>
16	<p>自転車利用者の割合の出典は区民意識調査となっているが、令和３年度と令和４年度でかなり違いがあるが同じデータソースなのか。</p> <p>➡出典元は同じ区民意識調査ですが、対象者が令和３年度は「中学生以上の方から無作為で2,000名」であったのに対して、令和４年度以降は「未就学児と小学生の保護者、それと中学生・高校生の方から無作為に2,000名」に変更になっております。</p>
17	<p>令和４年度の区民意識調査は、通勤で使っている方は対象外になっているのか。</p> <p>➡自転車を通勤に使っている保護者の方は対象ですが、子どもがおられない方は対象外となります。</p>
18	<p>区民意識調査の自転車利用者の割合について、令和３年度と令和４年度以降の値と比較して自転車活用推進計画の評価指標評価することには問題がある。自転車利用者の割合が87.6%となっているが、生産年齢人口全体ではないことを考えたら実際よりも高くなるのではないかと。</p> <p>➡他所管のアンケートを利用しており、正確なデータを追えるような調査を検討します。</p>
19	<p>大田区の自転車が関与する事故が非常に高く、その事故は区が管理している道路で約55%起きている。そして、一番多い事故が車両単独転倒で、その中で運転操作誤りの単独転倒が一番多い。単独転倒の事故に関しては、段差やアスファルトの亀裂など、走行環境の問題もあるので警察と連携して、続いて同じ事故が発生しないように改善をしていただきたい。</p>
20	<p>自転車関与事故において第一当事者の6割が自転車となっていることから、広報や啓発活動が必要である。</p>
21	<p>ヘルメットの着用率も上がらない状況にある。すぐに広まることはなかなか難しいことだと思うが、本日お集りの方々にも、家族やお友達だとか知り合いの方にかぶっていただくよう広めていただくことで、大田区でも着用率が上がっていくと思う。</p>

## 令和6年度 大田区自転車活用推進委員会 次第

日程：令和6年10月24日（木）午後2時から

会場：大田区役所本庁舎第五、第六委員会室

※WEB会議システムによるハイブリッド形式

### 1 開 会

- (1) 新規委員の紹介

### 2 報 告

- (1) 令和5年度第2回大田区自転車活用推進委員会について
- (2) 令和6年度第1回大田区自転車等駐車対策協議会について

### 3 議 事

- (1) 【たのしむ】令和5年度実績と令和6年度の実施内容について
- (2) 令和6年度の年間スケジュールについて

### 4 その他

- (1) 大田区自転車等総合計画の主な指標について
- (2) 次回の予定

令和7年度大田区自転車活用推進委員会：令和7年6月頃を予定

### 5 閉 会

#### \*配布資料

【資料1】令和5年度第2回大田区自転車活用推進委員会について

【資料2】令和6年度第1回大田区自転車等駐車対策協議会について

【資料3】【たのしむ】令和5年度実績と令和6年度の実施内容

【資料4】令和5年度【たのしむ】事業実績

【資料5】令和6年度【たのしむ】事業詳細

【資料6】令和6年度の年間スケジュール

【参考資料1】大田区自転車等総合計画の主な指標について

【参考資料2】令和5年度【とめる】【はしる】【まもる】実績と令和6年度の実施予定



## 委員会の概要

<b>【日程】</b>	令和5年12月21日(木) 午後2時～4時	<b>【報告】</b>	(1) 令和5年度第1回大田区自転車活用推進委員会について (2) 令和5年度第1回大田区自転車等駐車対策協議会について	<b>【その他】</b>	(1) 次回の予定
<b>【会場】</b>	大田区役所本庁舎 第五、第六委員会室	<b>【議事】</b>	(1) 令和5年度【たのしむ】実績について (2) 令和6年度の年間スケジュールについて		



## 主な意見

報告(1) 令和5年度第1回大田区自転車活用推進委員会について / (2) 令和5年度第1回大田区自転車等駐車対策協議会について	
1	交通事故について、自転車が第1当事者となる事故が増加しているのか。 ⇒令和5年11月末の時点で、交通事故における自転車の関与率が54.1%であり、令和4年の52.6%に対して若干上昇しています。また令和4年と比較し、自転車が第1当事者となる事故件数も増加しています。
議事(1) 令和5年度【たのしむ】実績について	
1	OTA サイクルフェスタのイベント告知については、前回の大田区自転車活用推進委員会で自治会連合会と商店街連合会に協力をお願いをさせていただいた。どのような協力が可能なのかを確認したい。 ⇒自治会連合会と商店街連合会には今後改めて事務局から説明やお願いをさせていただきますので、協力方法は別途回答させていただきます。
2	OTA サイクルフェスタの協力団体などに、自転車等駐車対策協議会の委員になっている高齢者団体や教育関係の方々にも今後入ってもらえたら良いと思う。
3	はねびよん健康ポイントアプリのスタンプスポットに関して、スタンプスポットとなる自転車店は基準等に基づいて事前精査などを行っているのか。 ⇒昨年度にスタンプスポットとして登録した際には、東京都自転車商協同組合大田区四支部連合会に加盟している全店舗に希望を募り、希望のあった5店舗を登録しました。本年度は、組合加盟に関わらず個別にアプローチすることができた店舗に確認を取り、希望のあった6店舗を追加しました。登録基準は特になく、希望いただいた自転車店をスタンプスポットとして登録しています。
4	はねびよん健康ポイントアプリの施設案内に自転車店が掲載されるようになったので、アプリによって来店されるお客様も出てきている。自転車店からお客様にアプリのダウンロードを推奨することも考えられる。そうすることでアプリ自体の知名度が上がっていくことも考えられるし、データを活用する側としても1つの価値になると考えられる。
5	はねびよん健康ポイントアプリの自転車店舗のスタンプスポットはエリア的に広がってきたが、今後は蒲田や田園調布などに増えると大田区を広範囲にカバーでき、アプリの利用者への情報提供として役立つのではないかとと思う。自転車等駐車対策協議会の委員である東京都自転車商協同組合大田区四支部連合会の会長に協力をお願いした方が進めやすいと思う。
6	サテライト施設については、大田区内だけで考えると視野が狭くなるので、多摩川沿いで考えると川崎市も向かい側にある。例えば、多摩川スカイブリッジを渡った先のサイクリストの立寄り場になっている東急 REI ホテルのリバーカフェや、多摩川大橋を渡った先の多摩川交流センターなどがある。川崎市などと協力しながらサテライト施設の研究が進んでいくと良いと思う。 ⇒今年6/30の全国散走フォーラムに関連して実施した試走会では、サイクリング拠点の検討をしている羽田空港跡地の公園予定地を出発点とし、川崎のリバーサイドカフェの立寄りを含む試走を行いました。自転車の行動範囲の広さを活かし、広域に考えるようにしたいと思います。
7	サテライト施設について、「大田区青少年交流センター“ゆいっつ”」はトイレ・シャワーを完備している。“ゆいっつ”をサテライト施設として検討できないか。 ⇒サテライト施設候補の選定において“ゆいっつ”を候補としておりませんでしたので、改めて状況を確認してからサテライト施設としての活用を検討していきたいと思えます。
8	「大田区青少年交流センター“ゆいっつ”」に視察に行ったが、宿泊室や集会室もある施設で、講演会も可能となっており、さまざまな活用を考えるべき施設と思った。例えば、散走伝道師養成研修会などで宿泊機能などを活かした内容で取組を広げていくことも考えられる。
9	6/30の全国散走フォーラム翌日に、大田区内にあるものを活かして散走を行う「あるものでde散走」を企画した。その中で、商店街で海苔を買って「大田区青少年交流センター“ゆいっつ”」のキッチンを利用しクッキングを行う予定だったが、雨天で中止となったが、“ゆいっつ”には可能性を感じた。
10	サテライト施設候補の管理主体は全て大田区なのか。 ⇒全て大田区の施設として管理しています。
11	サテライト施設にサイクルラックを置いてもらえると、サイクリスト受け入れのシンボルとなると思う。
12	羽田イノベーションシティにサイクルラックを置くことは可能か。羽田イノベーションシティや羽田空港国際ターミナルに駐輪場はあるものの、サイクリストを受け入れられるものではない。 ⇒羽田イノベーションシティには有料駐輪場がありますが、サイクルラック設置について検討いたします。
13	サイクリング拠点検討予定地は、以前の委員会でも議論した羽田空港跡地の公園予定地のことを指しているのか。指しているのならば、こういった整備の検討が進められているのか。 ⇒羽田空港跡地の公園予定地です。現在、整備を所管する部署と連携しながら設備や面積の検討をしています。

14	散走企画で、アートファクトリー城南島、大田市場など臨海部地域でいろいろな方との連携ができたことは良かった。
15	散走伝道師養成研修会は蒲田交通安全協会、東京都自転車商協同組合大田区四支部連合会の方にも参加いただいて、ルール・マナーを含めて大田区を楽しむ機会を作れたことが非常に良かったと思う。まだ少ない参加人数でしか実施できない状況なので、今後新たな方法などを検討したい。
16	ライフステージに合わせた安全教育や効果的な街頭指導の方法など、他都市の成功事例を大田区でも実施することが効果的である考えられる。10月に羽田で空港まちづくり課と実施したデンマーク式の自転車教育では2日間で60人の参加があり、保護者の方からの評価も高かったので、こうした取組を継続して行えるようにする仕組みを検討していきたい。
17	散走伝道師養成研修会について、自転車店側としても自転車に乗る楽しさなどを理解する必要があると思ったため、自転車店のスタッフも参加させていただいた。スタッフからも自転車の乗り方のことまでは、これまでサポートできていなかったといったという報告があり、自転車を販売する側も学ぶことで、自転車事故の抑止につながるのではないかと思った。

議事（2）令和6年度の年間スケジュールについて	
1	シェアサイクルの導入については、自転車駐車対策協議会で主に議論していたが、現在、大田区を網羅する形で配置されている。これ以上重点的に設置する場所があるのか。 ⇒シェアサイクルの利用に偏りがあり、利用の多いポートでは自転車があふれる状況が発生しております。馬込や池上を中心に需要の偏りのある場所でのポートの拡充を検討しています。
2	大田区の中には広い歩道はあまりないが、サイクルポートは路外設置が多いのか。 ⇒蒲田駅西口に1か所路上ポートがあり、その他は全て路外に設置しています。

## 協議会の概要

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>【日程】</b> 令和6年7月23日(火)<br/>午後2時～4時</p> <p><b>【会場】</b> 六郷地域力推進センター5階<br/>六郷集会室</p> | <p><b>【報告】</b> (1) 令和5年度第2回大田区自転車等駐車対策協議会について</p> <p><b>【議事】</b> (1) 令和5年度【とめる】実績と令和6年度の実施予定について<br/>(2) 令和5年度【はしる】実績と令和6年度の実施予定について<br/>(3) 令和5年度【まもる】実績と令和6年度の実施予定について<br/>(4) 令和6年度の年間スケジュール(案)について</p> | <p><b>【その他】</b> (1) 計画の主な指標について<br/>(2) 次回の予定</p> |
|--|--|---|



## 主な意見

報告(1) 令和5年度第2回大田区自転車等駐車対策協議会について	
—	意見なし
議事(1) 令和5年度【とめる】実績と令和6年度の実施予定について	
1	<p>自転車駐車場の駐輪ラックによっては、大型自転車の横にはスペースがなく駐輪できないことや、2段ラックだと女性や子ども、高齢者には出し入れが難しいといったことが問題となっている。十分な収容台数を整備するだけでなく、ラックの形状などにも考慮して整備することは考えているのか。</p> <p>→平置きの自転車駐車場では、乱雑な駐輪に対して人力で対処する必要があるため、駐輪ラックを導入しております。利便性や安全性なども考慮し、2段ラックでも段違いのものにすることや高さを調節できるものにするなどの工夫に努めています。</p>
2	<p>隣に駐輪した自転車ハンドルの形状によっては、前かがみが破壊されるケースもある。自転車の大型化が進む中で、そうした被害について自己責任となっていることについてどう考えているのか。</p> <p>→現状では大型自転車専用の駐輪スペースを設けるなどの工夫で対応しています。しかしながら全ての駐輪場で対応ができておりません。また、大型自転車は大きなスペースを必要としますので、受益者負担の考えから、料金見直しにおいて大型自転車の差別化を検討したいと考えています。</p>
3	<p>自転車駐車場の将来需要予測において、長期的な自転車需要の変化を考慮するために、自転車等駐車場別に、東京都市圏パーソントリップ調査の自転車のトリップ数について平成20年から平成30年までの変化を整理しているが、東京都市圏パーソントリップ調査では駅ごとのアクセストリップ数のレベルでは統計的な精度が十分でないとする。</p> <p>そのため、平成20年から平成30年まででトリップ数が減少しているからといって、それが今後も続くという見方には問題があると思う。</p>
議事(2) 令和5年度【はしる】実績と令和6年度の実施予定について	
1	<p>今後の自転車走行空間整備による効果検証のための調査に向けて、関係する方に必要に応じて相談して、よりよい内容になるように進めていただきたい。区で整備現状をまとめもらうためにも、国道や都道の状況把握に各関係機関のご協力をお願いします。また、区内全体の自転車ネットワークの完成に向け、今後、国道や都道に連携等お願いしていくことになると思う。</p>
2	<p>区道の走行環境は、一層、安全に配慮した使いやすいネットワークになるよう改善を図っていただきたい。</p>
3	<p>シェアサイクルが大田区内でも活躍していることはよいことだと思うが、一方で、一部のサイクルポートでシェアサイクルがあふれて歩道や車道にはみ出している状況も見られる。何か対策を考えているのか。</p> <p>→サイクルポートに返却できるシェアサイクルの台数に制限をかけることで対応しています。また、あふれが発生しているサイクルポートの周辺でポートの用地を探していますが、ポート設置条件に見合った用地が見つからない状況です。</p>
4	<p>あふれているサイクルポートに、近隣のポートを案内する掲示などもないので、野放図な状態になっていると思う。掲示などの対策を区として考えているのか。</p> <p>→シェアサイクルの運営事業者とともに、周辺ポートの案内の設置を検討いたします。</p>
5	<p>大田区のまちづくりとして、今後の道路の使い方をどのように考えているのか。ヨーロッパだと駅前に自動車を入れないようにして、歩行者と自転車だけを通行させるといったことも行っている。</p> <p>→現状では、既存の道路でスペースを確保するのが難しいため、主に区道では車道混在形式で走行環境の整備を行っている状況です。他の自治体では、道路再編等で車道のある程度減らし、歩行者道路の整備を行っているところもあります。そうした手法も含め、歩行者、自転車、自動車のそれぞれが利用しやすい通行空間を想定してまちづくりということを検討することは、大田区としても理想であると考えています。</p>
6	<p>日本の自転車行政全般として、走行環境の整備は非常に遅れており、30、40年前には道路空間がないまま車社会になってしまったので、仕方なく自転車は歩行者と一緒に場所を通行しようということになった。ただ、高齢化の進行もあり、歩道上での事故を防ぐため、15年程前から自転車には車道を走行させる方針で取り組みを進めてきた。</p> <p>大田区においてパリでやっているような道路空間の再配分を行うことは、幅員の狭い区道では難しく、都道や国道の方が実施の可能性はあると思う。東京都や国道事務所に任せるということも重要ではあるが、大田区としても区民や自転車利用者の立場から、どういう姿が望ましいのかを議論できるようになるとよいと思う。</p>



議事（３）令和５年度【まもる】実績と令和６年度の実施予定について	
1	<p>電動キックボードについては、いろいろ検討されているようだが、交通安全教育など、どのような状況なのか。</p> <p>→現在、ホームページや区報で周知啓発を実施しております。今後も引き続き関係する警察署、運営事業者との協力のもと啓発を行っていきたいと考えます。また、対象は16歳（高校生）以上となるため、高校でのスクエア・ストリートでは電動キックボードを使った実演なども行っています。内容についても更新を行いながら進めていきたいと考えます。</p>
2	<p>交通安全移動教室は保育園で実施とあるが、なぜ幼稚園ではやっていないのか。小学校に入学する7歳の事故が最も多いと聞いている。入学前に交通安全教室を受けることができるように幼稚園でも教育を行っていただきたい。</p> <p>→幼稚園での実施については、実施していない理由を整理したうえで検討していきます。なお現在の幼稚園に対する取組みとしては、年3回交通安全だよりというお子さまが楽しんで学べるリーフレットを発行しております。</p>
3	<p>昨年からヘルメットの購入助成を行っていますが、大田区のヘルメットの着用率はどの程度か。他と比較してどうなのか。自転車事故による死亡者の死亡原因の70パーセントが頭部による打撃であると記憶している。ヘルメットの着用については、ぜひとも推進していただきたい。</p> <p>→令和5年の区民意識調査では、「ヘルメットを着用している」が18.8%となっています。全国的な調査と比較すると大田区の使用率は低いと感じております。</p>
4	<p>蒲田駅の東口・西口で自転車の押し歩きを呼び掛けているが、障害を持った方からは、まだ駅前を自転車で走ってくる人がいて怖いといった話も聞いている。押し歩きの順守状況などのデータは把握しているか。</p> <p>→週に1回の頻度で、自転車の押し歩きの状況調査を実施しています。次回協議会でお示しします。</p>
議事（４）令和６年度の年間スケジュール（案）について	
—	意見なし
その他（１）計画の主な指標について	
1	<p>大田区の自転車事故件数がこの2年間で増加を続けている。コロナ禍以降で自転車の利用が増えたことも影響していると考えられ、大田区固有の問題ではないと思うが、警察で事故の状況などを把握されているのか。</p> <p>→大田区だけではなく、都全体として自転車の事故件数及び人身事故に占める自転車関連事故の割合が増えている現状です。警察としては、安全教育の他、取り締まりを強化することによって事故の抑止を図っています。ただ都内における事故率の平均と比べて、大田区内は高い傾向にあります。</p>
2	<p>こういった種類の自転車事故が増えている印象があるか。</p> <p>→基本的に車両との事故が多く、自転車同士、また自転車対歩行者で、自転車側がルールを守らないことによって起きる事故が増えている印象を受けています。</p>
3	<p>昨年から、タンDEM自転車は皇居周辺以外の場所でも利用可能となった。タンDEM自転車であれば、障害を持った人でも自転車を楽しむことができると思う。ソラムナードや臨海部、多摩川のサイクリングロードや公園などで整備を進めていくことも考えられるが、どのように考えるか。</p> <p>→タンDEM自転車については、いろいろな活用の可能性があると思います。情報を収集して安全性や整備する場所、活用の方向性などを検討していきたいと考えています。</p>
4	<p>指標について、現時点で達成しているものもあるが、それらの今後の扱いをどのように考えているのか。達成したのでもう十分と考えるのか、さらなる目標値の向上を目指すのか。シェアサイクルの整備状況や認知度などはもう十分だと思うので、別の視点からの評価を行うことも考えた方がよいと思う。</p> <p>→指標の数字につきましては、後期アクションプラン策定の際に見直しや新たな指標の設定も含めて検討を行いたいと考えています。</p>
その他（２）次回の予定	
—	意見なし

# 【たのしむ】令和5年度実績と令和6年度の実施内容

● 令和4年3月に策定した大田区自転車等総合計画及び前期アクションプランに基づき、令和5年度に取り組んだこと、令和6年度の実施予定を整理しました。

前期アクションプラン(令和4～8年度)			令和5年度に取り組んだこと(令和6年3月末時点)	令和6年度の実施内容		
総合計画の施策体系	個別事業					
基本方針4 【たのしむ】 自転車を活用して 楽しい毎日をつくる	たのしむ1 自転車を活用するための きっかけづくり	1-1 自転車を活用した【暮らし】の推進	1-1-1 大田区での暮らしを楽しむための自転車活用の推進 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>区ホームページで自転車活用の推進ページを作成</li> <li>散走年間スケジュールと実績を区HPに掲載</li> <li>大田区シティプロモーションサイトとの連携 →OTA サイクルフェスタの情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区ホームページでの情報発信</li> <li>包括連携協定を締結している民間団体と連携した周知啓発の実施 →大田区ナナハト学校での周知啓発を実施(令和6年5月25～26日)</li> </ul>	詳細① 自転車月間での自転車活用推進の取組
			1-1-2 区民の環境意識の向上 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>OTA サイクルフェスタ 2024 の共催 (令和6年2月24日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OTA サイクルフェスタの開催に向けた調整</li> </ul>	実績 OTA サイクルフェスタ 2024 の共催
		1-2 自転車を活用した【健康】づくりの推進	1-2-1 はねびよん健康ポイントアプリと連携した自転車活用の推進 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコフェスタワンダーランドとの連携 (令和6年2月17日) →パネル展示、チラシ配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコフェスタワンダーランドとの連携 (令和7年3月8日予定)</li> </ul>	
			1-2-2 スポーツ・健康イベントと連携した自転車活用の推進 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリでの自転車活用に関するニュース配信 (全1回)</li> <li>自転車店のスタンプスポットの6店舗追加 (計11か所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリでの自転車関連スタンプスポットの継続運用</li> <li>アプリ新機能に関する主管課との調整</li> </ul>	
		1-3 自転車を活用した【観光】の推進	1-3-1 散走イベントの実施 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民スポーツまつり (令和5年10月9日) での散走イベントへの協力</li> <li>バイシクルタウン Tokyo2023 秋の散走スタンプラリー、散走企画への協力</li> <li>「まもる」事業と連携した啓発ブース出展。 →「身体をトトノエル散走」が雨天のため中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民スポーツまつり (令和6年10月14日) における「散走ワークショップ・散走体験」への協力</li> </ul>	詳細② 散走フォーラム及び試走会の協力
			1-3-2 散走を楽しむための仕組みづくり →	<ul style="list-style-type: none"> <li>HANEDA オアシスの実施協力 (令和5年4月29日、30日) (空港まちづくり課主催)</li> <li>散走スタンプラリーへの実施協力 (令和5年4月1日～30日)</li> <li>ソラムナード試走会の実施 (令和5年6月30日)</li> <li>『散走』イベントへの協力 (11種13日間計画)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>散走フォーラム試走会の協力 (令和6年6月28日)</li> <li>区民スポーツまつりでの散走の実施協力 (令和6年10月14日)</li> <li>散走イベントへの協力 (秋の散走めぐり) (令和6年9月18～10月14日)</li> </ul>	
	たのしむ2 自転車活用を根付かせるための支援	2-1 【暮らし】での自転車活用支援	2-1-1 新たな日常での自転車活用に関する周知・啓発の実施 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国散走フォーラムの協賛 (令和5年6月30日)</li> <li>散走年間スケジュールの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度区主催の散走実施に向けた調整 (複数回実施予定)</li> </ul>	詳細③ 令和6年度の散走イベントの支援
		2-2 【健康】づくりでの自転車活用支援	2-2-1 企業での自転車活用の支援 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民スポーツまつり (令和5年10月9日)</li> <li>OTA ふれあいフェスタ (令和5年11月4日、5日)</li> <li>チラシ配布・パネル展示で周知啓発</li> <li>区役所本庁舎でパネル展の開催 (令和5年6月13日～17日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民スポーツまつり、OTA ふれあいフェスタ等のイベントでのチラシ配布・パネル掲出の継続</li> <li>包括連携協定を活用した民間団体との連携による周知・啓発の実施</li> <li>全18特別出張所への自転車月間ポスター掲出依頼</li> <li>区役所本庁舎でのパネル展示 (令和6年10月7日～11日)</li> </ul>	
		2-3 【観光】での自転車活用支援	2-3-1 余暇時間を楽しめる自転車観光の促進 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおた健康経営事業所等との連携を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業で活用できる健康づくりに有益な自転車情報の提供</li> </ul>	
	たのしむ3 【暮らし】【健康】【観光】の自転車活用を支える環境づくり	3-1 サイクリング環境の向上	3-1-1 サイクリング環境に関する案内情報の提供 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田区シティプロモーション HP「ユニークおおた」への自転車観光記事の掲載 →SNSでの情報発信、イベントでのOTA サイクルフェスタの紹介等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客への対応として、観光情報センターで1日券を販売 (令和6年8月10日開始)</li> </ul>	詳細④ サテライト施設指定にかかる関係部署との調整
		3-2 サイクリストの受入環境の充実	3-2-1 サイクリング拠点の設置推進 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>たまりバー交通安全啓発運動 (令和5年10月29日 雨天のため中止)</li> <li>多摩川河川敷のゆずり合いルールの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たまりバー交通安全啓発運動の開催</li> <li>多摩川河川敷のゆずり合いルールの継続検討</li> </ul>	
		3-3 シェアサイクルの推進	3-3-1 サイクルポートの設置推進 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園でのサイクリング拠点整備に関する調整</li> <li>サイクリング拠点視察 (霞ヶ浦リンロード)</li> <li>サテライト施設視察 (区内6カ所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園でのサイクリング拠点整備に関する調整 (R6公園全体のパークPFI事業として公募開始)</li> <li>サテライト施設指定にかかる関係部署との調整</li> </ul>	詳細⑤ 「たのしむ」としての大田区コミュニティサイクル事業の活用推進
		3-3-1 サイクルポートの設置推進 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営事業者との連携によるサイクルポート増設と自転車増車 (令和5年度は13カ所設置、合計136カ所。241台増車、合計646台。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「たのしむ」としての活用推進</li> </ul>		



# 令和5年度【たのしむ】の事業実績

## 実績 OTAサイクルフェスタ 2024 の共催

- OTA サイクルフェスタは大田区自転車等総合計画策定を契機に、自転車の活用推進や啓発の場として、令和4年度に開催を開始しました。
- 区は共催として、会場の確保や広報にかかる関係機関との調整を行いました
- OTA サイクルフェスタ実行委員会と連携し、「OTA サイクルフェスタ 2024」を令和6年2月に開催しました。(2日間のうち1日は雨天中止)
- 自転車の体験試乗や自転車シミュレータ等の取組みに加えて、子どもの補助輪外しイベントや交通安全講習など、実際の体験を通じた「たのしむ」「まもる」の取組みが行われました。

日時	令和6年2月24日(土) 10:00~16:00
会場	平和島公園(東京都大田区平和島4-2-2)
来場者数	1,511名
主催団体等	主催 OTA サイクルフェスタ実行委員会 [構成団体] 大田区自転車活用推進委員会、株式会社オギヤマサイクル、グローブ・スポーツコミュニケーションズ株式会社、株式会社springpc
	共催 大田区、GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会
	協力 警視庁 交通部、警視庁 大森警察署、大森交通安全協会、大田区商店街連合会、NTT 東日本、京急開発株式会社、一般社団法人自転車協会、一般社団法人大森フットボールクラブ、東京都自転車商協同組合 大田区四支部連合会、株式会社あさひ
内容	自転車展示・試乗会、e-Bikeで行こう!大田区散歩、キッズスクール(補助輪外し、ランニングバイク体験)、BMXレース体験、BIKE&CAMP、ステージコンテンツ、バーチャルサイクリング、キッチンカー、自転車無料安全点検、ヘルメット販売、イベントライブ配信
広報	【実行委員会】イベント特設サイト 【大田区】区報、大田区ホームページ、公式X、区設掲示板、ユニークおおた
メディア取材	・J-com(OTAシティーニュース) ・イツコム ・朝日新聞DIGITAL



ステージでは、プロライダーによるパフォーマンスや、区長も出演したトークショーを開催しました。



キャンプエリアでは、自転車とキャンプを一緒に楽しむBIKE&CAMPを開催しました。子どもたちと一緒に焼きマシュマロを楽しみました。



グラウンド内では、自転車の乗り方(補助輪外し)教室やランニングバイク体験など、広さを活かした様々なコンテンツを開催しました。

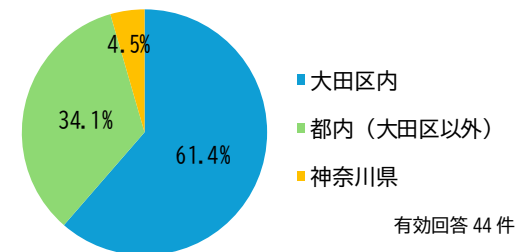


メイン会場では、自転車メーカーによる最新の自転車展示・試乗会や、自転車シミュレーターなど、自転車の楽しさを体験できるブースが多数出店されました。

## OTAサイクルフェスタ 2024 アンケート調査結果

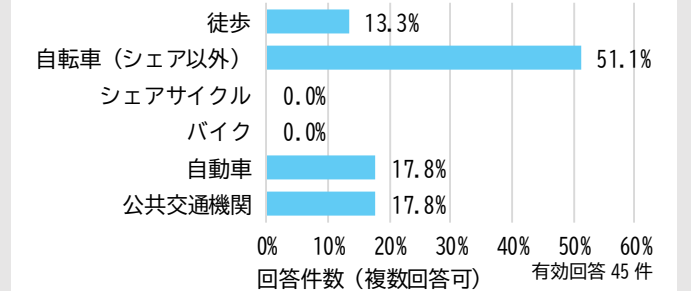
### ①来場者の居住地

- 来場者は区民が6割、区民以外が4割でした。
- 区の広報以外にも、主催者によるSNSやホームページ等での情報発信が行われたことで区外からの来場が増えている可能性があります。



### ②会場までの移動手段(複数回答)

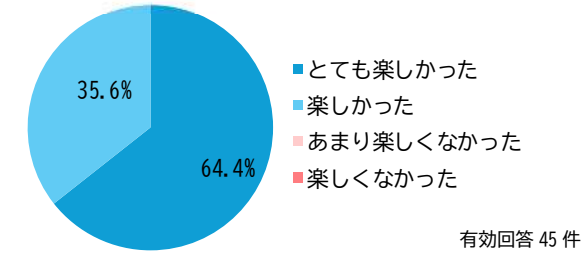
- 回答者のうち自転車が5割、自動車、公共交通が2割でした。令和4年度に比べると公共交通利用が多い傾向があります。



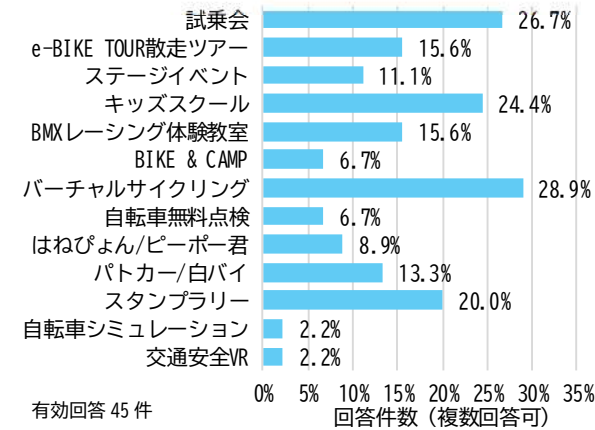
### ③イベントの満足度と楽しかったプログラム

- 全ての回答者の満足度が高くなっています。
- キッズスクールやバーチャルサイクリング等体験型イベントがとくに好評であり、ファミリー層も楽しめるイベントとなっています。

#### ■イベントの満足度

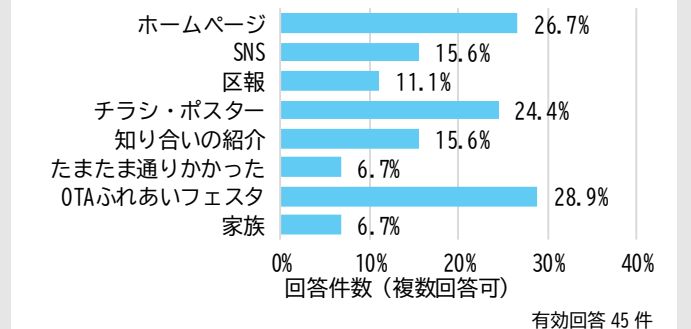


#### ■楽しかった・良かったプログラム(複数回答)



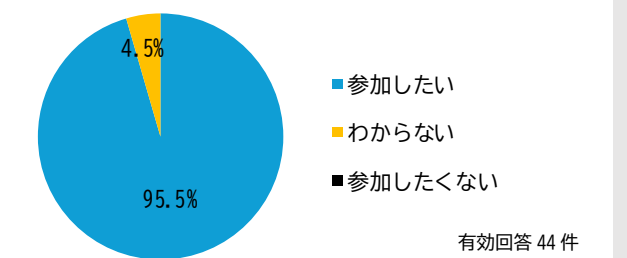
### ④イベントを知ったメディア

- ふれあいフェスタでのチラシ配布、公共施設等のポスター掲出等、ホームページやSNS以外にも紙面での広報も一定の効果が見られます。



### ⑤次回のイベントへの参加の意向

- 次回のイベントを開催した場合の参加の意向について、回答者の大半が参加したいと回答しています。



- 令和4年度開催時に比べてキッズスクールなど体験型プログラムが増え、全体として高評価。
- 来場者のうち88.9%は家族・パートナーとの来場となっており、普段はスポーツや趣味としての自転車に接する機会の少ないファミリー層に対し情報発信ができたと考えられます。
- 次回のOTAサイクルフェスタは、令和8年度以降で開催を検討中です。



# 令和6年度【たのしむ】事業詳細

## 詳細① 自転車月間（5月）での自転車活用推進の取組

- 自転車活用推進法では、自転車の活用の推進についての関心と理解を深めるため、5月5日を「自転車の日」、5月を「自転車月間」と定めています。
- 期間中、イベントでの啓発ブースの出展や、自転車月間 PR ポスターの区施設への掲示を行いました。

### (1) 大田区ナナハト学校での情報発信（5月25日、26日開催）

- 令和6年5月25日（土）、26日（日）にイトーヨーカドー大森店で開催された、公民連携イベント「大田区ナナハト学校（4時限目）」において、自転車啓発ブースを開設し、交通安全や自転車活用推進に関する情報発信を行いました。
- 2日間にわたり、来場者に対するアンケート調査、パネル調査（区内のおすすめスポット）を実施し、回答者数は273名でした。
- おすすめスポットの情報等は、散走イベントや散走マップ等への活用を検討します。

#### ■ナナハト学校での情報発信

- (1)ヘルメット着用努力義務化・区購入助成制度
- (2)交通ルールの遵守に関する情報発信
- (3)散走など自転車活用に関する情報発信
- (4)「おすすめスポット」に関するアンケート調査
- (5)自転車活用・自転車走行環境に関するアンケート調査



### (2) その他の情報発信

- 自転車活用推進法に位置付けられている5月の「自転車月間」に合わせて、公共施設へのポスター掲出や、区ホームページ等での情報発信を行いました。

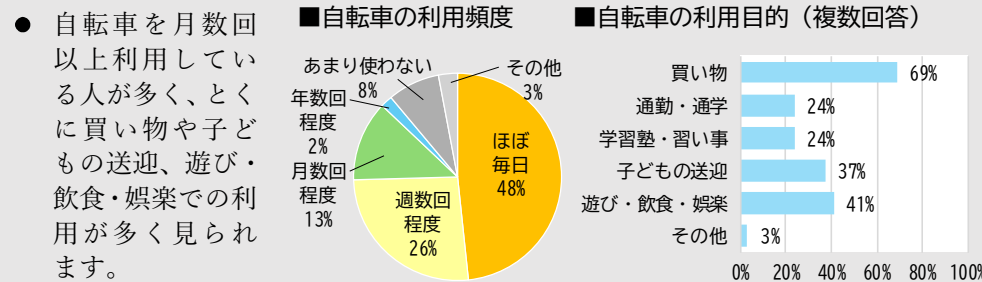
#### ■自転車月間ポスターの公共施設への掲出

- 国土交通省 自転車活用推進本部が制作した自転車月間のポスターについて、全18特別出張所の掲示板上に掲出を依頼しました。
- ポスターは前述の「ナナハト学校」でも掲出しています。

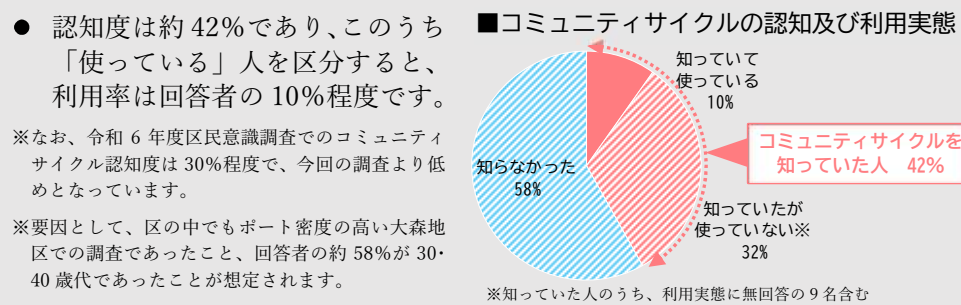


### 【アンケート調査結果】

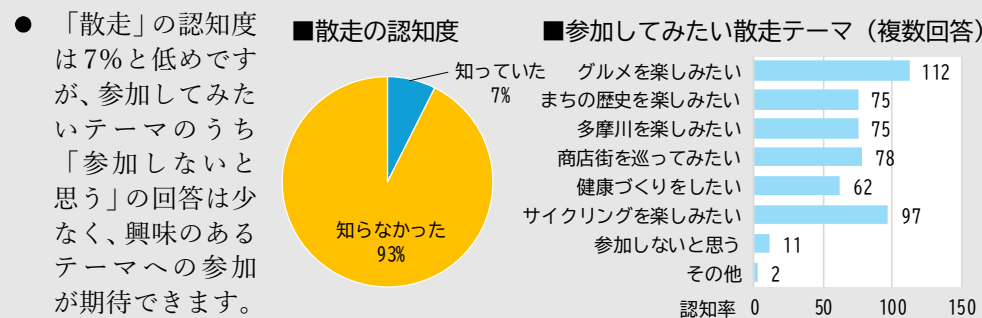
#### ①自転車の利用頻度や利用目的



#### ②コミュニティサイクルの認知度（知っている人の割合）



#### ③散走の認知度と参加したい散走テーマ

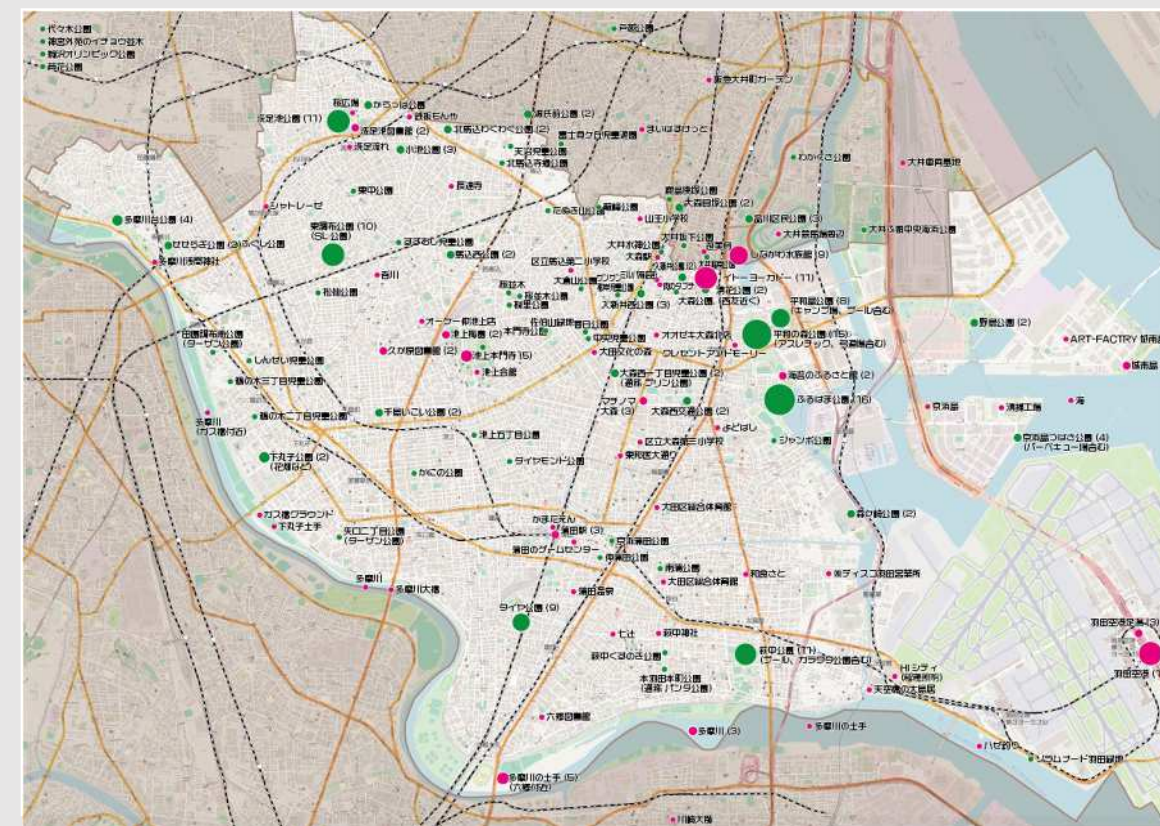


#### 大田区内の「おすすめスポット」

- 区内の「おすすめスポット」についてアンケートを実施したところ、大田区の代表的な公園や羽田空港といったスポットがあげられました。
- 子どもの回答も多かったため、区内各地にある様々な公園があげられました。

#### ■回答の多かったスポット

順位	スポット名	回答数
1	大森ふるさとの浜辺公園	16
2	平和の森公園	15
3	羽田空港	12
4	秋中公園	11
5	イトーヨーカドー大森店	11
6	洗足池公園 (SL公園)	11
7	東調布公園 (SL公園)	10
8	しながわ水族館 (区外)	9
9	平和島公園	8





## 詳細② 散走フォーラム及び試走会の協力

- 自転車活用推進委員の所属団体である（一社）散走ネットワークが主催する、「第2回全国散走フォーラム」が令和6年6月28日（金）に、羽田エアポートガーデンにて開催されました。
- フォーラムの開催に合わせて、「羽田空港周辺を自転車で走れる環境づくりに向けた散走試走会」が開催されました。
- 区は、散走試走会に用いる自転車（大田区コミュニティサイクル）の提供を行うとともに、散走フォーラムでは、区の自転車活用に関する取り組みを紹介しました。
- サイクリストに向けた案内看板やのぼり旗のデザインイメージを作成し、散走フォーラム会場内で掲出しました。（本来は試走会ルート上に設置予定としていたが、雨天のためフォーラム会場内に設置）



### ■区の主な協力内容

#### ① 散走に使用する自転車の提供（大田区コミュニティサイクル事業との連携）

- （株）ドコモ・バイクシェアの協力のもと、コミュニティサイクルを散走試走会の自転車として活用。



#### ② 散走フォーラムでの大田区の実績の紹介

- 散走試走会の後、羽田エアポートガーデンで全国散走フォーラムが開催されました。
- 散走フォーラムの中で、都市基盤計画調整担当課長が登壇し、区の自転車活用の取組について紹介しました。
- ディスカッションを通じ、全国の自転車活用に取り組む団体等との交流を行いました。



### ■講演内容

- ① 大田区自転車等総合計画について
- ② 大田区の【たのしむ】事業と【散走】イベント
- ③ 令和2年度の【池上散走】の取組
- ④ 令和5年度の【多様なテーマでの散走実施】
- ⑤ これからの【散走】に向けた取組



## 詳細③ 令和6年度の散走イベントの支援

### (1) 大田区区民スポーツまつりでの「散走」ワークショップ&体験会

- 10月14日（月・祝）に開催された「第41回大田区区民スポーツまつり」では、（一社）散走ネットワークと連携し、ワークショップ及び散走体験を実施しました。
- ワークショップ及び散走体験では、区内外から集まった24名の参加者が、前述のナナハト学校で行った「大田区のおすすめスポット」の調査結果等も活用しながら、自分たちでルートを作成し、自転車で区内のスポットを巡る散走体験を行いました。

### ■区の主な協力内容

- ①（株）ドコモ・バイクシェアと連携し、散走に用いるコミュニティサイクルを提供
- ② 区ホームページでの情報発信
- ③ ワークショップの場所（大田区青少年交流センター ゆいっつ）にかかる調整
- ④ 募集案内チラシの配布
- ⑤ 区役所本庁舎パネル展でのPR

### ■「散走」ワークショップ&体験会のチラシ



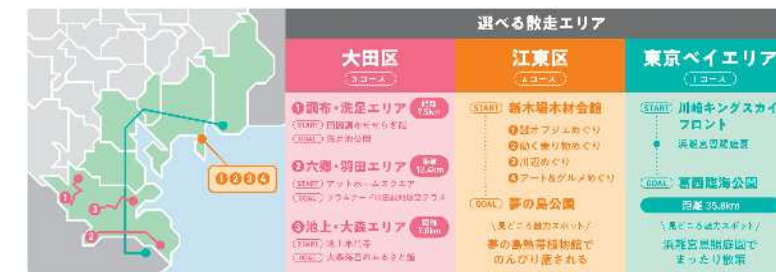
### ■実施状況



### (2) -2024- 秋の散走めぐりの支援（令和6年9月18日～10月14日）

- （一社）散走ネットワークの主催により、川崎市から江戸川区にかけての臨海部を中心とした「-2024-秋の散走めぐり」が開催されました。
- 区では、大森ふるさとの浜辺公園におけるのぼり旗等の設置について調整を行いました。

### ■-2024-秋の散走めぐりでの散走エリアと散走コース



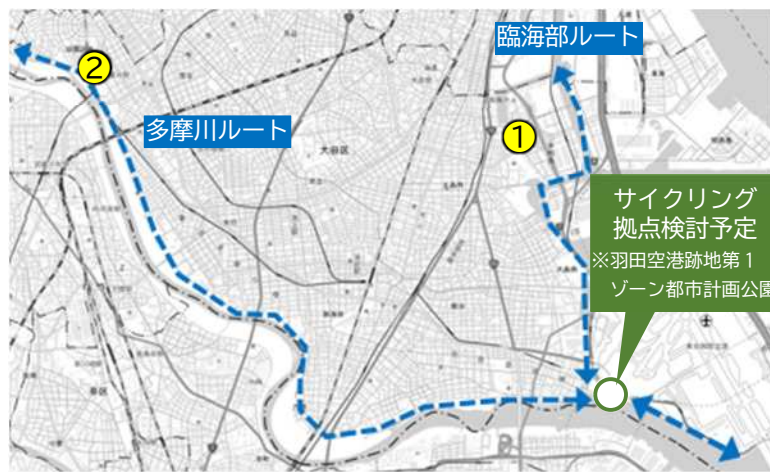


## 詳細④ サテライト施設指定にかかる関係部署との調整

- 区内の既存のトイレ・シャワー室等を有する施設を活用した「サイクリスト立ち寄り施設（サテライト施設）」の具体化に向けて、継続して検討を進め、施設利用に向けた調整を図っています。
- 区ではサテライト施設として、臨海部ルートに1施設、多摩川ルートに1施設を指定することとし、関係各部署に調整を行っています。
- 臨海部ルートでは、「大田区青少年交流センターゆいっつ」について関係部署と調整し、令和7年4月からサテライト施設として指定する予定です。
- 多摩川ルートでは、新たに「田園調布せせらぎ館体育施設」についてサテライト施設指定の検討を始めました。
- 令和6年7月、空港まちづくり課により将来のサイクリング拠点として検討している「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園」について事業者公募が開始されました。令和6年度中に公園の整備・運営事業者選定及び基本協定を締結し、令和10年4月の公園の開業に向けて、設計、整備が進められていきます。

### ■サテライト施設の概要

	① 大田区青少年交流センター ゆいっつ	② 田園調布せせらぎ館 体育施設
施設イメージ		現在建設中 (令和6年11月供用開始)
利用時間	9:00~20:00	9:00~22:00
トイレ	○	○
更衣室	○	○
シャワー	5分以内 100円	5分 100円
駐車場	30分 100円	30分 100円
備考	令和7年度サテライト施設指定に向け調整中	サテライト施設として今後検討



### 【参考】サイクリング拠点検討予定地の整備スケジュール（予定）

	R6			R7												R8	R9	R10						
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1~12	1~12	1~12			
①公募・選定	→																							
②公園の設計・整備																								
③供用開始																							R10.4 予定	

### ■サイクリング拠点整備後の展開イメージ

サイクリング拠点では、休憩・立ち寄り機能だけでなく、自転車で楽しみながらまちを巡る散歩、自転車教室での安全啓発、自転車のない区民や観光客も楽しめるシェアサイクル等、自転車の魅力・価値を発信し、自転車活用の推進に資する様々な事業の展開をイメージしています。

## 詳細⑤ 「たのしむ」としての大田区コミュニティサイクル事業の活用推進

### コミュニティサイクルの課題と活用推進

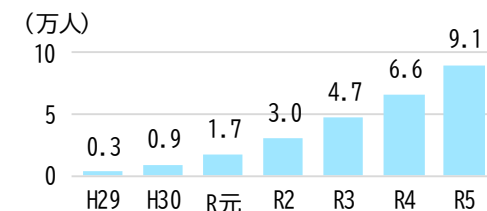
- コミュニティサイクルが移動サービスとして定着した一方で、利用集中ポートではみ出し駐輪が発生するなど課題も生じています。課題を解消しつつ、より一層の利用促進を図るための取組を行っています。

#### (1) 課題への対応

##### ① 利用が集中するポートへの返却台数制限の設定

- コミュニティサイクルの利用者増加に伴い、駅前等の利便性の高いポートに収容台数以上の返却が集中し、通行障害になる等の問題が生じました。
- R6.8.19現在で58ポート（約40%）について収容可能台数以上の返却ができないよう、台数制限を設定しています。

■累計登録者数の推移



##### ② 用地の確保に向けた新たな取組

- コミュニティサイクルポート用地の確保のため、新たに区営住宅の敷地へのポート設置を検討し、令和6年10月9日、区営住宅では初のポートを大森南五丁目アパートに開設しました。



大田区営大森南五丁目アパートにポートを設置

#### (2) 活用推進

##### ① スポーツイベントと連動したコミュニティサイクル活用の推進

- 「おおた区民スポーツまつり」では、会場間の移動にコミュニティサイクルが活用できるよう、プログラムにサイクルポートの位置・情報を掲載しています。
- 「おおたランニングフェスティバル」では会場アクセスを向上するためコミュニティサイクルの増車をを行っています。



##### ② 区内観光との連携

- 羽田空港やコンベンション施設の利用者が、気軽に区内観光を楽しめるように、コミュニティサイクルを活用した区内観光の情報発信を今後検討していきます。
- 外国人観光客対応として、観光情報センターでコミュニティサイクルの1日券の販売を開始しました。（令和6年8月10日開始）



##### ③ 散歩イベントへのコミュニティサイクルの提供

- (株)ドコモバイクシェアとの協定に基づき、散歩イベント等に使用するコミュニティサイクルを提供しています。

		令和6年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
駐車対策協議会	決めごと	【とめる】前年度の実績確認・本年度の取組検討		事業の実施									
	会議	【はしる】前年度の実績確認・本年度の取組検討		事業の実施					本年度の進捗報告・次年度の取組検討		次年度の取組目標の設定等		
活用推進委員会	決めごと	【たのしむ】前年度の実績確認・本年度の取組検討		※事業の実施					本年度の進捗報告・次年度の取組検討		次年度の取組目標の設定等		
	会議			第1回 (7月)							第2回 (1月)		
実施する取組	とめる	蒲田駅東口陸橋下自転車駐車場改修工事、蒲田駅消費者生活センター横自転車駐車場改修工事の実施設計											
		蒲田駅東口地下自転車駐車場の整備・指定管理者制度等の管理運営方法検討											
		穴守稲荷駅前自転車駐車場・蒲田駅西口御園自転車駐車場における試験的料金設定の継続、料金改定の検討											
		自転車等駐車場将来需要予測の方針検討、需給バランスを考慮した自転車駐車場整備・運用見直しの検討											
		新システム導入やコールセンター業務を含めた放置自転車対策の見直し検討・調整											
	はしる	R6 実施の道路改良工事等に合わせた自転車ネットワーク整備実施計画に基づく自転車走行環境整備の継続実施											
		次期自転車ネットワーク策定に向けた効果検証の実施											
	まもる	シェアサイクルの運用（効果的にポートを拡充）											
		道路交通法改正に合わせた交通安全啓発の実施											
		大田区自転車安全対策助成制度（ヘルメット助成）の推進											
たのしむ	保育園や児童館、小中学校や高齢者等への交通安全教育等の継続実施及びアンケート調査による効果の検証												
	自転車活用啓発等の実施（包括連携協定を締結している民間団体との連携、他イベント連携等）												
	サイクリング拠点関連（サイクリング拠点の具体化に向けて調整、サテライト施設の設定に向けて調整）												
ナナハト学校 (5月)													
区民スポーツまつり (10月)													
OTA ふれあいフェスタ (11月)													
エコフェスタワンダーランド (3月)													
散走フォーラム (6月)													
区民スポーツまつり (10月)													
ランニングフェスティバル (2月)													

※令和7年度の自転車活用推進委員会は令和7年6月の開催を予定しています。

## 大田区自転車等総合計画の主な指標について

項目		計画策定時			計画期間中		評価の目安となる数値	出典
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	13年度	
放置自転車台数	台	955	835	514	251	382	500	駅前放置自転車等の現況と対策 ※各年10月の任意の1日に調査した台数
(前回比)		+68	-120	-321	-263	+131	-	
駅周辺の自転車等駐車が足りていないと感じる人の割合	%	68.1	/	/	/	/	50.0	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 ※次回調査は令和7年度予定
(前回比)		-	-	-	-	-	-	
自転車ナビマーク・ナビラインの認知度	%	75.9	/	78.3	60.8	63.9	90.0	【令和元年度】大田区自転車に関するアンケート調査【令和3,4年度】区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 ※「知っている、通るようにしている」「知っていたが、意識して通ったことはない」の合計
(前回比)		-	-	+2.4	-17.5	+3.1	-	
車道左側通行を遵守していない人の割合	%	24.0	/	21.9	20.0	19.9	18.0	【令和元年度】大田区自転車に関するアンケート調査【令和3,4年度】区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
(前回比)		-	-	-2.1	-1.9	-0.1	-	
自転車事故件数	件	612	593	686	732	843	340	大田区交通安全のあらし ※各年1月～12月の件数
(前回比)		+12	-19	+93	+46	+111.0	-	
他の自転車から受けるヒヤリハット経験がある人の割合	%	88.9	/	90.5	/	/	67.0	【令和元年度】大田区自転車に関するアンケート調査【令和3年度】区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 ※「よくある」「ときどきある」の合計
(前回比)		-	-	+1.6	-	-	-	
自転車利用者の割合	%	63.3	59.3	67.8	87.6	84.2	70.0	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 ※「よく使う」「たまに使う」の合計
(前回比)		+0.9	-4.0	+8.5	+19.8	-3.4	-	
余暇時間にサイクリング等を実施している人の割合	%	13.1	/	16.1	17.2	13.6	24.0	【令和元年度】大田区自転車に関するアンケート調査【令和3,4年度】区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
(前回比)		-	-	+3.0	+1.1	-3.6	-	
シェアサイクルの認知度	%	36.5	33.9	37.0	30.6	32.3	50.0	区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
(前回比)		+6.4	-2.6	+3.1	-6.4	+1.7	-	
シェアサイクルの年間利用回数	回	324,730	446,780	538,515	747,799	1,008,522	547,500	運営事業者提供データ
(前回比)		+182,228	+122,050	+91,735	+209,284	+260,723	-	

※主な指標は、目標像にどれだけ近づけたかを評価するためにモニタリングする主なデータです。計画の評価に際しては、主な指標や関連データをモニタリングするとともに、施策の成果や外的要因を含めて総合的に行っていきます。



# 令和5年度【とめる】実績と令和6年度の実施予定

● 令和4年3月に策定した大田区自転車等総合計画及び前期アクションプランに基づき、令和5年度に取り組んだこと、令和6年度の実施予定を整理しました。



# 令和5年度【はしる】実績と令和6年度の実施予定

- 令和4年3月に策定した大田区自転車等総合計画及び前期アクションプランに基づき、令和5年度に取り組んだこと、令和6年度の実施予定を整理しました。

前期アクションプラン(令和4~8年度)					令和5年度に取り組んだこと(令和6年3月末時点)		令和6年度の実施予定	詳細資料で内容を整理
総合計画の施策体系		個別事業						
基本方針2 【はしる】 安全な自転車ネットワークをつくる	はしる1 自転車走行環境整備のさらなる展開	1-1 自転車走行環境整備の早期実現	1-1-1 現行の自転車ネットワーク整備実施計画に基づく自転車走行環境整備の推進	→	約13kmの自転車走行環境整備を実施 (累計約170kmの自転車走行環境整備を達成)	→	自転車ネットワーク(区道約170km)概成による整備効果の検証 ①交通ルールの遵守状況調査(交通量等) ②通行者の意識調査(歩行者、自転車) ③警察庁の交通事故オープンデータ等に基づく整備前後の事故発生状況の変化の検証	詳細① 次期自転車ネットワーク整備方針の検討に向けて ※「まもる」と連動した現地啓発を含む  詳細② 自転車ネットワーク整備の効果検証に向けて
		1-2 次期自転車ネットワーク整備実施計画の策定・推進	1-2-1 自転車走行環境整備による効果検証	→	令和8年度の次期自転車ネットワーク計画策定を見据えた効果検証方法の検討	→	次期整備方針の方向性の検討(下記は案) ①国道・都道を含めた幹線軸の形成について ②既存整備区間の機能向上、維持管理について	
			1-2-2 次期自転車ネットワーク整備実施計画の方針検討	→	連続性の確保や既存整備路線に対する方針を検討	→		
	1-3 自転車走行環境に関する周知・啓発の実施	1-3-1 自転車利用者への通行方法の周知・啓発の実施	→	自転車走行環境について、区報掲載、区設掲示板へのポスター掲示、HPへの掲載を実施	→	「まもる」と連動した区報掲載、区設掲示板へのポスター掲示、HPへの掲載を実施 区道への通行方法の啓発看板等の設置		
		1-3-2 ドライバーへの自転車利用特性の周知・啓発の実施	→	ドライバーへの効果的な周知・啓発方法の検討	→			
	はしる2 シェアサイクルの運用	2-1 シェアサイクルの在り方の整理	2-1-1 シェアサイクルの本格導入の検討	→	令和4年12月15日より本格実施	→	令和4年12月15日より本格実施	
2-2 持続的な事業運営に向けたシェアサイクルの利用促進		2-2-1 運営事業者と連携したシェアサイクルの利用促進	→	自転車の再配置地域割見直しによる再配置強化 矢口特別出張所、中馬込貝塚公園等の車両溢れの多いポート周辺へのポート設置 シェアサイクルポートの新設(13か所増設)(計:136か所)	→	未設置となっている交通不便地域・鉄道駅周辺へのシェアサイクルポートの設置検討		
2-3 様々な場面でのシェアサイクル活用の推進		2-3-1 イベントでのシェアサイクル活用の推進	→	ソラムナード試走会、道路走りやすさ点検試走会でのコミュニティサイクルを用いたイベントを実施	→	散走イベント等での活用の継続実施		

★実証実験から本格実施への移行を受けて、自転車等総合計画の中間見直し及び後期アクションプラン策定に合わせて、「たのしむ」への移行を検討します。

# 令和5年度【まもる】実績と令和6年度の実施予定

- 令和4年3月に策定した大田区自転車等総合計画及び前期アクションプランに基づき、令和5年度に取り組んだこと、令和6年度の実施予定を整理しました。
- 後期アクションプランでの「まもる」取組の深度化に向けて、包括連携に取組む民間団体等との協力を通じて、社会人層や主夫主婦層、大学生等への新たな教育・啓発ルートの開拓を図ります。

前期アクションプラン(令和4~8年度)		令和5年度に取り組んだこと(令和6年3月末時点)		令和6年度の実施予定	
総合計画の施策体系		個別事業		※赤字は後期アクションプランを見据えた新たな動き	
基本方針3 【まもる】 自転車の 交通ルール 遵守の意識 をつくる	まもる1 年齢層に合 わせた交通 安全教育機 会の充実	1-1 新たな交通 安全教育機 会の創出	1-1-1 高校・大学と連携した交通安全教育機会の提供	→ 高校でのスケアード・ストレイトを4校で実施 → 受講者へのアンケート調査を実施	→ 高校でのスケアード・ストレイトを5校で実施 → 学校教員への交通安全教育に関するヒアリング調査を実施
			1-1-2 企業と連携した交通安全教育機会の提供	→ 大学と連携した交通安全教育機会の検討	→ 包括連携に取組む大学等と連携した大学生向け教育ルートの開拓
			1-1-3 子育て世帯への交通安全教育機会の提供	→ 企業と連携した交通安全教育機会の検討 → 自転車安全利用 TOKYO セミナーとの連携	→ 包括連携の企業等と連携した大人への啓発ルートの開拓 → 自転車安全利用 TOKYO セミナーとの連携
			1-1-4 イベントでの交通安全教育機会の提供	→ 児童館での乳幼児の保護者向け交通安全講話を16回実施 → 受講者へのアンケート調査を実施(新規)	→ 児童館での乳幼児の保護者向け交通安全講話を16回実施 → 受講者への講座内容改善に向けた調査の実施(WEB調査の活用等の検討)
	1-2 既存の交通 安全教育の 継続	1-2-1 保育園での交通安全教育の実施	→ OTA ふれあいフェスタ、OTA サイクルフェスタ等での自転車交通安全啓発、警察と連携した安全教育の実施	→ OTA ふれあいフェスタ等での自転車交通安全啓発、警察と連携した安全教育の実施	
		1-2-2 小学校での交通安全教育の実施	→ 保育園での交通安全移動教室を99回実施	→ 保育園での交通安全移動教室を100回実施	
		1-2-3 中学校での交通安全教育の実施	→ 小学校での交通安全巡回指導を277回実施(教育委員会)	→ 小学校での交通安全巡回指導を277回実施(教育委員会)	
		1-2-4 高齢者向け交通安全教育の実施	→ 中学校でのスケアード・ストレイトを8校で実施 → 受講者へのアンケート調査を実施	→ 中学校でのスケアード・ストレイトを10校で実施	
	まもる2 年齢層に合 わせた周知・ 啓発の推進	2-1 自転車安全 利用に関す る周知・啓 発の新たな展 開	2-1-1 高校生・大学生向け周知・啓発の実施	→ 高齢者向け交通安全教育を継続(高齢者交通安全集会30回、交通安全体験教室1回) → 受講者へのアンケート調査を実施(新規)	→ 高齢者向け交通安全教育を継続 (高齢者との交通安全集会30回、高齢者交通安全体験教室1回)
			2-1-2 企業・商店街と連携した周知・啓発の実施	→ 学生向け自転車安全利用啓発ポスターの掲示(東京工科大学)	→ 学生向けの内容を記載した自転車安全利用啓発ポスターを効果的に掲示できるよう調整
2-1-3 子育て世帯に対する周知・啓発の実施			→ 自転車安全対策助成制度(ヘルメット助成)対象店を通じた交通安全啓発、保険加入、盗難防止を配布(配布数各2,318枚)	→ 自転車利用者への交通安全啓発リーフレット配布等の施策検討 → 包括連携企業の企業等と連携した大人への啓発ルートの開拓(R6.5.25,26に包括連携企業と連携しナナハト学校での啓発を実施)	
2-1-4 自転車の安全利用への備えに関する周知・啓発の実施			→ 子乗せ自転車の安全利用リーフレットの配布(配布数25,924枚:保育園、3歳児健診で配布)	→ 子乗せ自転車の安全利用リーフレットによる保育園、3歳児健診等で保護者に周知・啓発	
2-1-5 自転車走行環境整備に伴う適切な通行ルールの周知・啓発の実施			→ 自転車安全対策助成制度(ヘルメット助成)による自転車保険加入、自転車盗難防止啓発の実施、各種イベントでのヘルメット着用等の啓発を実施	→ 自転車安全対策助成制度(ヘルメット助成)による自転車保険加入義務化、盗難防止の周知を実施。各種イベントでの大田区自転車安全対策助成制度の周知、ヘルメット着用啓発等を実施	
2-2 既存の周 知・啓発事 業の継続		2-2-1 未就学児向け周知・啓発の実施	→ 自転車走行環境について、区報掲載、区設掲示板へのポスター掲示、HPへの掲載を実施	→ 自転車走行環境について、区報掲載、区設掲示板へのポスター掲示、HPへの掲載を実施	
		2-2-2 小学生向け周知・啓発の実施	→ 交通安全だよりを3回発行し、保育園・幼稚園に配布(配布枚数73,900枚)	→ 保育園等でのチラシ配布等を継続	
		2-2-3 中学生向け周知・啓発の実施	→ 交通安全だよりを発行し、小学校に配布(配布枚数81,800枚:低学年向け3回、高学年向け2回)	→ 小学校でのチラシ配布等を継続	
		2-2-4 高齢者とその家族に対する周知・啓発の実施	→ スケアード・ストレイト実施校へのリーフレット配布(配布数3,590枚)	→ スケアード・ストレイト実施校へのリーフレット配布	
			→ 高齢者との交通安全集会で交通安全啓発チラシ配布(配布数553枚)	→ 高齢者施設等でのチラシ配布等を継続	

詳細①  
包括連携を結ぶ民間団体等と連携した新たな教育・啓発ルートの開拓  
※大人、大学生等から順次

詳細②  
交通安全教育の課題抽出と見直しに繋がる調査の実施